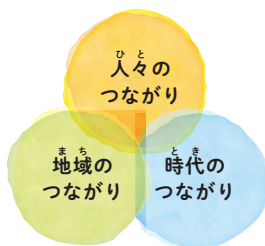


「第6次草津市総合計画」将来に描くまちの姿／

ひと・まち・ときをつなぐ
絆をつむぐ ふるさと

健幸創造都市 草津



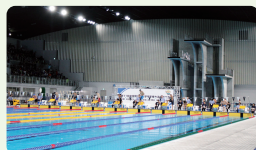
「こころ」育むまち

人権 男女共同参画 学校教育 生涯学習・スポーツ 歴史・文化

多様性を生かし、誰もが輝くまち

草津市では、豊かな歴史や文化を次世代に守り伝えながら、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが生き生きと輝き、お互いを認め合うことができるまちをめざしています。

また、将来を担う子どもたちが、思いやりを持って人とつながり、自らの個性を伸ばし、人生の基礎・基本となる「生きる力」を身に付けられるように、草津市の強みを生かした教育を推進しています。



インフニア草津アクアティクスセンター
(草津市立アール)

スクールESDくさつプロジェクト

～多様な人々と協働し、地域の課題解決のために行動する～

子どもたちが身の回りの事象を、地球規模で考え、周りの人と協働して身近なことから行動することにより、自己肯定力ややり抜く力、主体性・探究性・協働性・社会性を養っています。地域と学校に共通する課題や解決策について、教科で学んだ知識を使って、地域と協働して学習しています。



「笑顔」輝くまち

コミュニティ 地域福祉 健康 子ども・子育て・若者 長寿・介護 障害福祉

「誰もが自分らしく生きられるまち」をめざして

さまざまなコミュニティ活動を進め、地域と行政が共に地域の課題に取り組むまちをめざしています。

また、子どもから高齢者まで、国籍や文化などの違いにかかわらず、障害のある人もない人も、お互いを大切にし、誰もがいつまでも元気に活躍できるまちづくりを進めています。



子育て支援拠点施設「ミナクサ☆ひろば」

まちづくり協議会 ～地域ぐるみの住民自治組織～

まちづくり協議会は「草津市協働のまちづくり条例」に基づいて市が認定した、地域を代表する総合的な自治組織です。小学校区に一つずつ、計14の協議会があります。「自分たちの住む地域は自分たちでつくる」という理念のもと、住みよい地域づくりに取り組んでいます。

各地域のまちづくり協議会では、地域づくりのビジョンとなる「まちづくり計画」を策定し、各地域まちづくりセンターを拠点として、さまざまな活動を行っています。



草津市まちづくり協議会連合会

市長挨拶

昭和29（1954）年10月15日に市制を施行した草津市は、今年で70周年を迎えます。70年の月日を重ねる中で、草津市の人口は著しく増加し、まちも大きく発展してまいりました。礎を築かれた先人の努力や功績に感謝を申し上げるとともに、草津市と共に歩みを進めていただいた市民の皆様、ゆかりのある方々に心からお礼を申し上げます。この70周年を機に「ひと・まち・とき」のつながりに対する思いをさらに強め、市民の皆様と共に、誰もが健やかで幸せに暮らせるまちづくりを一層進めてまいります。

草津市長 橋川 渉



「暮らし」支えるまち

防災 生活安心・防犯 環境 交通 道路 上下水道

未来に向けた、持続可能なまちづくり

東日本震災以降、自然災害に対する備えの重要性が高まっています。草津市では、市民の皆さんの生命と財産を守るために、防災備蓄品の整備のほか、河川や上下水道の災害対策などハード面の整備と合わせて、地域防災力の向上を図るソフト面での取り組みも進めています。

また、人口減少や少子高齢化が進行する将来においても、持続可能なまちであり続けるために、都市の基盤整備や公共交通の充実など、住みよいまちに向けた整備を進めています。



まめバス

愛する地球のために挑む、ゼロカーボンシティ

近年、世界各地で地球温暖化の影響による異常気象が相次いでいます。草津市はこれまでも地域ぐるみで地球温暖化対策を進める「草津市地球冷やしたい推進協議会」でさまざまな取り組みを行ってきましたが、令和3（2021）年12月に市議会と共同で「草津市気候非常事態宣言」を行い、ゼロカーボンシティ[※]を表明し、脱炭素社会づくりに向けた新たな一歩を踏み出しました。

※脱炭素社会づくりに向け、2050年までに二酸化炭素（CO₂）の排出量を実質ゼロにすることをめざすと公表した自治体のこと



「魅力」あふれるまち

農林水産 商工観光 都市形成 公園・緑地 情報・交流

地域の魅力を生かし、地域経済を活性化

交通の要衝として発展してきた草津市は、現在も、市内を国道1号や京滋バイパス、名神高速道路が通過するほか、新名神高速道路の草津田上にもあり、交通の利便性の高さから郊外に大規模工場が立地するなど、産業活動も活発です。

また、JR草津駅やJR南草津駅を中心に形成された市街地と、琵琶湖などの自然環境が共存し、住みよいまちとして評価されています。地域資源の活用や草津川跡地公園の整備を進めるなど、さらに魅力あふれるまちをめざしています。



星降る映画館
(草津川跡地公園 de 愛ひろば)

草津ブランド

草津市における地域産業の活性化と市のイメージアップを目的に、平成26（2014）年12月設立の「草津ブランド推進協議会」が認証した、草津市内の魅力的な地域資源で、地元をはじめとする多くの人に愛され、全国に誇れる「草津ブランド」をめざしています。現在、6つの農水産物と9つの名産品・工芸品が認証されています。



健幸都市くさつ

いつまでも健やかで幸せに暮らしたい
それは誰もが持つ共通の願いです



草津市では、平成28（2016）年8月に健幸都市宣言を行い、「健幸」を「生きがいもち、健やかで幸せであること」と考え、草津市に住む人だけでなく、通勤や観光などで訪れる人も健幸になれるまちをめざして、取り組みを進めています。

元気で長生きするなら草津／

草津市民の平均寿命は男性で83.3歳で、全国第9位。女性が89.0歳で、全国第4位となり、全国1,887市区町村の中でもトップクラス。健康寿命も、男女ともに県内1位！

出典：厚生労働省・令和2年市区町村別生命表の概況、令和4年度滋賀県健康づくり支援資料集

		健康寿命とは？	
男性	草津	平均寿命 83.3	健康上の問題で日常生活が制限されることなく過ごせる期間
	全国	健康寿命 81.82	
		81.5	
女性	草津	平均寿命 89.0	
	全国	健康寿命 85.88	
		84.33	